

ナンバリング	B②01	科目名	こどもと環境
担当形態	単独	担当教員	古賀 琢也
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト	プリント・資料を配布する		
開講時期	前期	単位数・授業形態	1 単位・演習
到達目標	・身近な環境に目を向け、こどもの育ちや保育への繋がりを意識するようになる。 ・身近な動植物や、文化・歴史などについて、こどもと楽しみながら探求していく姿勢を身につける。 ・こどもと環境の関係性について、専門的知識を用いて説明できる。		
授業の概要	フィールドでの観察、グループでの探索を基に身近な環境に触れ、親しんでいく。また、観察や探索で体験したことを共有することで、保育や遊びの展開について互いに意見を出しながら考えていく。その際、領域「環境」に関する視点や感性にも触れながら、専門的な力をこれらを養っていく。		
授業計画	第 1 回 学園内を探検し、お気に入りの場所や植物を見つけよう 子どもへの願い(自然・文化・地域)を意識する 第 2 回 身近な草花と保育 ～身近な自然に目を向ける・遊ぶとは～ 第 3 回 地域に目を向ける ～遊びから疑問や問いを膨らませよう～ 第 4 回 フィールドに出かけてみよう、学外探検 第 5 回 探検や発見をドキュメンテーションにまとめてみよう 第 6 回 経験を仲間と共有しよう ～遊びのプロセス・疑問と発見を共有する意味～ 第 7 回 虫かごを持って生き物探しに行こう ～作る・使う・観察する～ 第 8 回 身近な生き物と保育 ～飼育・発見・生命と子どもが経験すること～ まとめ		
準備学習と必要時間	・授業で提示された視点に基づいて、身近な環境を意識して生活する。(必要時間:各回 30 分以上) ・授業内で学んだことを整理し、まとめること。(必要時間:各回 30 分以上) ・指定された資料がある場合は、資料を読み、自分なりの考えをまとめておくこと。		
評価方法	・継続観察のレポート — 20% ・生き物観察の準備、積極性 — 20% ・生き物の飼育、レポート — 20% ・地域フィールドワーク準備、発表 — 20% ・グループワークへの参加の積極性 — 20%		
参考文献	授業中に適宜示します		

特記事項	・個人でのレポートだけでなく、グループでの議論やワークも行います。積極的な参加を期待します。 ・必要に応じて、学内外でのフィールドワークを行います。雨天でもフィールドワークを行うため、必要に応じて服装を調整して授業に臨むこと。				
課題へのフィードバック方法	・レポートにはコメント等をいれて返却します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	領域及び保育内容の指導法に関する科目・環境
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容					